

## LT-400CL / LT-400CL-18k

## 接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLB

## サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル（通常）入力	No-Shutterモード / 内部 トリガ	露光時間はカメラコントロールソフトウェアか 通信にて設定
トリガ入力	No-Shutter モード / 外部 トリガ	露光時間はソフトウェア設定

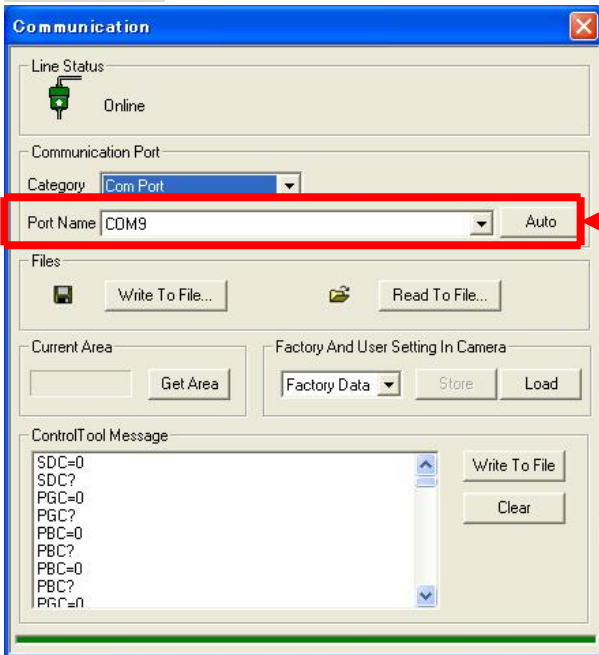
## 留意事項

- カメラのモード設定はカメラリンク I/F を通して行われます。
- 指定のない設定項目については工場出荷設定で使用可能です。
- カメラメーカーの提供するカメラコントロールソフトウェアを使用するか、  
弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API 等を使用して設定を行う必要があります。
- 本説明書とカメラメーカーが提供する取扱説明書に記載された通信仕様を参考に設定を行って下さい。  
通信用 API の詳細についてはライブラリ製品の説明書・ヘルプ等を参照して下さい。

詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、株式会社ジェイエアイコーポレーション(JAI)様より提供される、「User's Manual」を参照してください。

以下、メーカー提供のカメラコントロールソフトウェアを使用した場合の設定、及び、  
通信コマンドを示します。COM ポート番号はボードの設定に合わせて下さい。

通信の設定

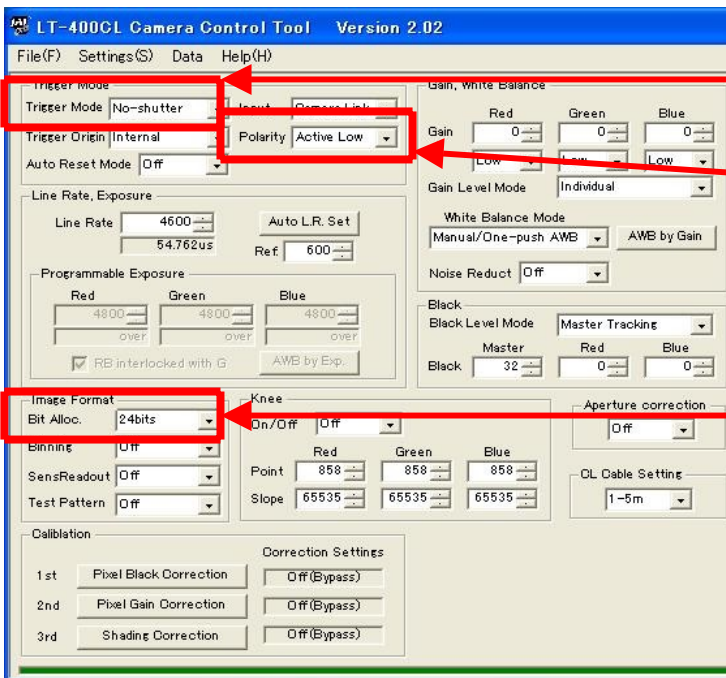


COMポート設定

→「割り当てたポートの設定に合わせる」

各モード共通の設定

- ・カメラコントロールソフトウェア



トリガモード

→「No-shutter」に設定

トリガ極性

→「Active Low」に設定

ビットアロケーション

→「24Bit」に設定

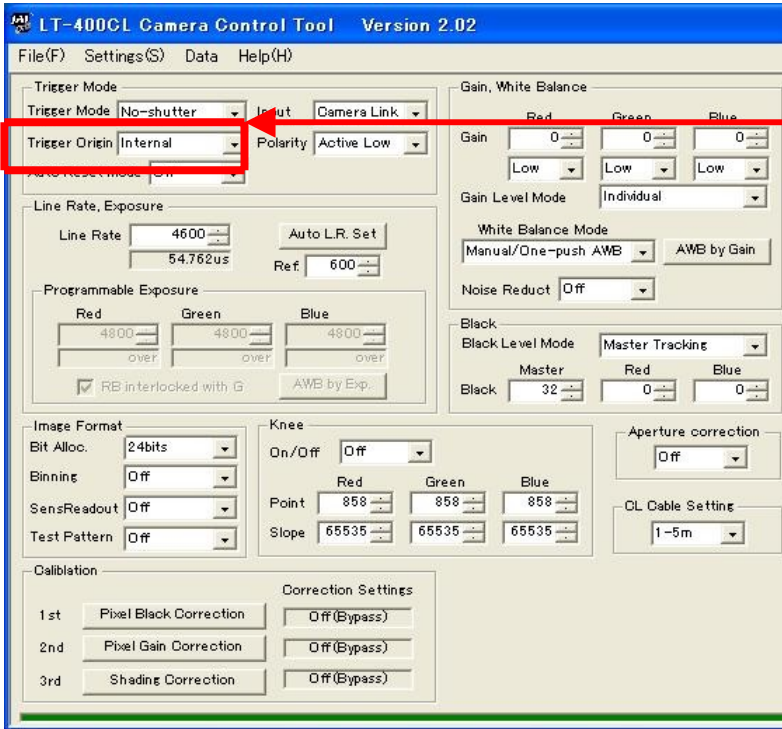
- ・通信

コマンド	設定項目	設定
TR	動作(トリガ)モード	「0:No-shutter(デフォルト)」に設定
TP	トリガ極性	「0:Active Low(デフォルト)」に設定
BA	ビットアロケーション	「0:24Bit(デフォルト)」に設定

取り込みモードに依存する設定

ノーマル入力の場合

- ・カメラコントロールソフトウェア



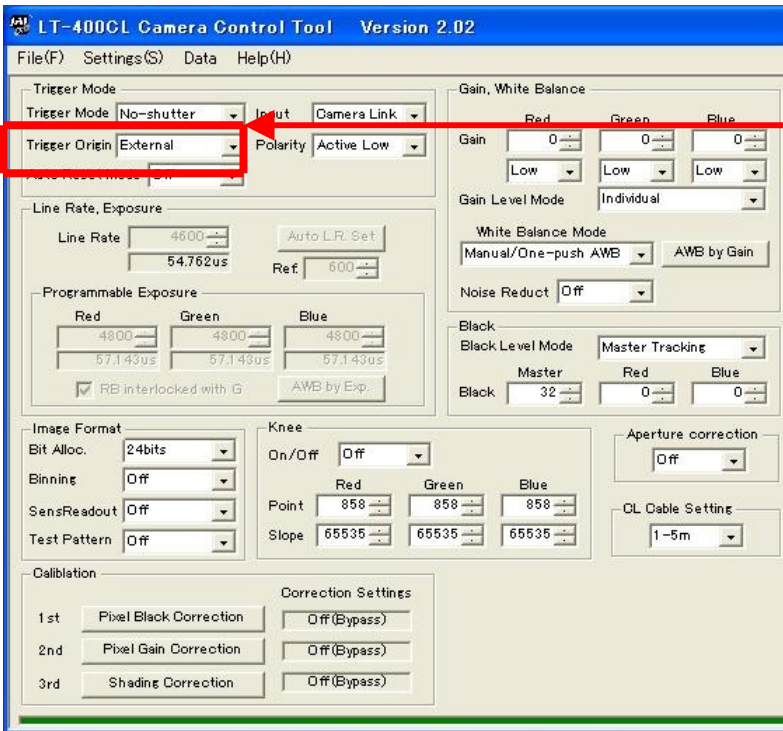
トリガソース選択  
→ 「Internal」に設定

- ・通信

コマンド	設定項目	設定
TG	トリガソース選択	「0:Internal (内部トリガ)」に設定
LR	ラインレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LT-400CL 「4944 (61.8us) ~120192 (15.02ms) : 12.5ns 単位」</li> <li>・ LT-400CL-18k 「4600 (54.8us) ~120192 (14.3ms) : 11.9ns 単位」</li> </ul>

トリガ入力の場合

- ・カメラコントロールソフトウェア



トリガソース選択  
→ 「External」に設定

- ・通信

コマンド	設定項目	設定
TG	トリガソース選択	「1:External (外部トリガ)」に設定